

先生各位

東北地方太平洋沖地震による一時受託中断などのご案内

謹啓 平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震により、下記のとおり受託体制において一時受託中止をせざるを得ない状況が出てきておりますので、ご案内を申し上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

なお、下記項目につきましては試薬並びに採取容器の確保に鋭意努力いたしております。特に一般細菌培養同定、一般細菌薬剤感受性検査につきましては代替試薬も含めて早急に調達を進めて参ります。

試薬、採取容器が確保できましたら改めてご案内いたしますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしく願い申し上げます。

謹白

記

《一時受託中止項目》

項目コード	項目名	受託可能受付日	特記事項
4524	クラミジアニューモニエ抗体 IgG	現時点におきまして検査の実施並びに受託はできません。	<u>代替項目：なし</u>
5902	クラミジアニューモニエ抗体 IgM		
4525	クラミジアニューモニエ抗体 IgA		
6353	結核菌群抗原精密測定	現時点におきまして検査の実施並びに受託はできません（右記参照）。 ¹⁾	<u>すでに左記同定関連項目のご依頼を頂いている検体</u> で、培養が陽性になり次第順次検査を開始いたしますが、培養陽性数により検査可能期間が明確ではありません。 3月22日ご報告分まで受託可能予定 となります。
3885	抗酸菌群核酸同定精密検査(DDH)		<u>すでに左記同定関連項目のご依頼を頂いている検体</u> で、培養が陽性になり次第順次検査を開始いたしますが、培養陽性数により検査可能期間が明確ではありません。 3月28日ご報告分まで受託可能予定 となります。
4487 4493	酵母様真菌薬剤感受性検査		3月24日ご報告分まで受託可能 となります。
3867	結核菌群核酸増幅同定（アキュプローブ）		<u>すでに左記同定関連項目のご依頼を頂いている検体</u> で、培養が陽性になり次第順次検査を開始いたしますが、培養陽性数により検査可能期間が明確ではありません。 4月4日ご報告分まで受託可能予定 となります。
3868	非定型抗酸菌核酸同定（アキュプローブ）		
6310	非定型抗酸菌薬剤感受性検査		<u>すでに左記薬剤感受性検査項目のご依頼を頂いている検体</u> で、培養が陽性になり次第順次検査を開始いたしますが、培養陽性数により検査可能期間が明確ではありません。 4月上旬報告分までが受託可能予定 となります。
-	抗酸菌薬剤感受性検査		

項目コード	項目名	受託可能受付日	特記事項
1207	1-アンチトリプシン (1-A T)	平成 23 年 3 月 19 日受付分まで	代替項目：C R P (項目コード：0807)
1208	ハプトグロビン		代替項目：L D (項目コード：0075)
3506	抗酸菌 分離培養 酸素感受性蛍光センサー法 (M G I T)		
3409	一般細菌培養同定 口腔、気道・呼吸器系材料	平成 23 年 3 月 24 日受付分まで	関連する目的菌すべても同様に一時受託中止となります。
	一般細菌培養同定 泌尿・生殖器系材料 ²⁾ ただし、尿材料を除く		
	一般細菌培養同定 血液または穿刺液		
	一般細菌培養同定 その他材料		
	一般細菌培養同定 簡易培養		
3464	真菌 培養同定		
3476	嫌気性培養		
3369 3370 3371	一般細菌薬剤感受性検査 ³⁾ ただし、消化器系材料、尿材料を除く		
0150	P A P (前立腺酸性フォスファターゼ)	平成 23 年 3 月 26 日受付分まで	代替項目：P S A (項目コード：1273)
4233	A C P (酸性ファスファターゼ) 材料違い		代替項目：なし
0148	A C P (酸性フォスファターゼ)		代替項目：P S A (項目コード：1273)
3864	抗酸菌 分離培養 小川培地法		受託可能期間は、ご依頼の急激な増加などにより受託可能期間が短縮されることがございますのであらかじめご了承ください。
2822	婦人科 液状検体法 (Thinlayer)	平成 23 年 4 月 9 日受付分まで	代替項目として、「婦人科 直接塗抹法」 (項目コード：2801) で対応可能です。その際の容器は R となります。
7255	別紙報告婦人科細胞診 (液状検体法)	平成 23 年 3 月 26 日受付分まで	代替項目として、「別紙報告婦人科細胞診」 (項目コード：6036) で対応可能です。その際の容器は R となります。
7261	細胞診 液状検体法		代替項目として、「婦人科 直接塗抹法」 (項目コード：2801) で対応可能です。その際の容器は R となります。HPV 定性検査の追加を前提とした検査です。別途、HPV 定性検査の案内もご確認下さい。
7262	液状細胞診 (T)		
7263	液状細胞診 (H)		

《一時納入不可採取容器》

項目コード	項目名	使用容器	納入可能期限	代替容器	特記事項
1821	淋菌核酸増幅同定	Q13	在庫分限り ⁴⁾	U2	容器に代替容器(Q13)であることを明確に表示して下さい。
3346	クラミジアトラコマチス核酸増幅同定				
7243	HPV-DNA 定性ハイリスク型	P5		なし	
7259	HPV-DNA 定性ハイリスク型				
7260	HPV-DNA 定性ハイリスク型				
2822	婦人科 液状検体法				
7255	別紙報告婦人科細胞診(液状検体法)				
7261	細胞診 液状検体法				
7262	液状細胞診(T)				
7263	液状細胞診(H)				
3409	一般細菌培養同定	T1			他社製品

- 1) 抗酸菌関連検査(同定検査並びに薬剤感受性検査)において、培養陽性となった後検査できない検体につきましては、菌株を保管し試薬が確保でき次第検査を開始いたします。
- 2) 一般細菌培養同定は、泌尿・生殖器系材料のうち尿材料のみ受託を継続いたします。
- 3) 一般細菌薬剤感受性検査は、消化器系材料、尿材料のみ受託を継続いたします。
- 4) 一時納入不可となりました採取容器につきましては、新たな容器の納入のみが不可となったものであり、現在お手持ちの専用採取容器または代替容器によるご依頼は継続して受託いたします。
(ただし、「一般細菌培養同定」(項目コード:3409)、「婦人科 液状検体法」(項目コード:2822)、「別紙報告婦人科細胞診(液状検体法)」(項目コード:7255)、「細胞診 液状検体法」(項目コード:7261)、「液状細胞診(T)」(項目コード:7262)、「液状細胞診(H)」(項目コード:7263)の受託可能受付日は、前頁のご案内のとおりです。)

《一時受託中止及び採取容器納入不可理由》

使用試薬並びに代替試薬、採取容器の確保が困難となったため。